

せんねん灸琵琶湖B型

せんねん灸琵琶湖B型
管理医療機器 温灸器 承認番号15300BZZ00706000

間違った使用法はトラブルの原因です。

この説明書をよくお読みになり、
正しく上手な使い方を心がけてください。
また、必要な時に読めるよう、
大切に保管しておいてください。



使用上の注意

- 「体質」「健康状態」「身体の部位」「気温・湿気」「気候」などの違いによって温熱の感じ方に変化が生じますのでご注意ください。
- 顔面の施灸はさけてください。

温熱効果

1. 疲労回復
2. 血行をよくする
3. 筋肉の疲れをとる
4. 筋肉のこりをほぐす
5. 神経痛・筋肉痛の痛みの緩解
6. 胃腸の動きを活発にする

せんねん灸琵琶湖の使い方



① 本体に棒もぐさを差し込み、押し出します。



② 押し出した棒もぐさの先端にまんべんなく火をつけます。



③ 火がついたら、棒もぐさを本体空気孔の高さまで引き上げます。



④ 本体底部に安全具をはめます。



⑤ 施灸ポイントを覆うようにかぶせ、お灸します。



⑥ 使用中、灰が多くなると熱量が下がります。熱量を一定に保つために、時々安全具を外し、棒もぐさの灰を払い落としてください。

ご使用前に必ずお読みください

やけどにご注意ください

次のような人は使用しないでください。

- 自分の意思で本品を取り外すことができない人
- 幼児

次のような部位には使用しないでください。

- 顔面
- 粘膜
- 湿疹、かぶれ、傷口
- 急性外傷患部

使用上の注意

〈重要な基本的注意〉

- 次の人は必ず医師または薬剤師に相談の上ご使用ください。今までに薬や化粧品等によるアレルギー症状(発疹、発赤、かゆみ、かぶれ等)を起こしたことがある人。妊娠中の人。糖尿病等、温感及び血行に障害をお持ちの人。
- 必ず安全具をつけて使用してください。
- 絶対に衣服などの上から使用しないでください。
- 1回のご使用につき身体全体で15分を目安にし、長時間、同じ部位での使用はさけてください。
- 汗をかいた場合など、お肌がぬれている時には、水分をよくふき取ってから使用してください。
- 入浴直前、直後の使用はさけてください。
- 使用時、点火した棒もぐさと金網との距離を約1.5~2cm以上離し、温度を調節して使用してください。
- 本品はもぐさを使用しているため、煙が多く出ますので室内でご使用の場合は換気にご注意下さい。
- 皮膚の敏感な方、かぶれやすい方等、低温やけどが生じる場合があるため、自らの皮膚の状態を十分考慮してください。
- 熱さを強く感じたときは部位を移動するか、使用を中止してください。
- 使用中、灰が多くなると熱量が下がります。熱量を一定に保つために、時々安全具を外し、棒もぐさの灰を払い落としてください。
- 火を消す時は安全具を外し、棒もぐさの先端を押し出し火消しキャップに差し込んでから、本体を火消しキャップ下部に向かって押し下げてください。
- 使用後は火消しキャップを使用し、完全に消えたことを確認してください。
- 本体及び安全具を繰り返し使用しますと脂分が付着してふさぐ場合があります。火立ちが悪くなるので、時折脂分を取り除いてください。

特長

- 広い範囲を一度に施灸でき、ほどよい温熱でコリと痛みをほぐします。また、棒もぐさを使用しますので施灸時間や温熱もご自身で調節できます。

保管方法

〈保管の条件〉

- 幼児の手の届かない場所に保管してください。もぐさの特性上、湿気を避けて保管してください。
- 水などで絶対にぬらさないでください。



せんねん灸 琵琶湖



本体



安全具



棒もぐさ



補助棒



火消しキャップ



紙テープ

使用後の消火方法



火を消す時は安全具を外してください。



棒もぐさの先端を押し出し火消しキャップに差し込んでから、本体を火消しキャップ下部に向かって押し下げてください。

補助棒の使い方



補助棒は、短くなった棒もぐさに使用します。



付属の紙テープでしっかりと固定してご使用ください。